



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年5月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「いっぱい宝物」

船木 江理子（ぶらいむ・たいむ本町校 保護者）

「お母さん あした会社休みだから、学校からまっすぐ家に帰ってきてもいいよ。」と声をかけても「やだ。YMCA行く！」と返事をする我が家の子供たち。学校帰りはYMCAでいかに楽しく過ごすか、毎日真剣に考えています。

できるだけ遅い時間まで預かってくれる学童を探したこと、盛岡YMCAとのご縁ができ、長女の入学を期にお世話になることになってからもう何年もたちますが、実は初めて長女をお願いしてからずっと（！）毎日のお迎えは私の楽しみでもあります。子どもたちと接して下さるリーダーのみなさんの前向きでパワフルな姿が私は大好きだからです。そして、ここ以外の世界ではなかなかお目にかかれないような「まっすぐさ」で子どもと向き合いつつそばにいて、なんなら子どもたち以上に楽しそうな様子で子どもたちと接して下さっているリーダーのみなさんにとっても感謝しております。我が家の子供たちがとにかく「YMCAに行く！」と言っている理由の一つは確実にリーダーのみなさんとの関わりにあると思っています。YMCAでのお友達同士・大人との関

わりで生じる楽しかったこと、嫌な思いも全部合わせて素敵な経験の宝物として子どもたちの心の中に積み重なっていくことと思えます。これからもどんどんここでの経験の宝物を心の引き出しにしまって行ってほしい、そして大きくなったら時々引き出しの中の宝物を自分のために、他の人のために役立ててほしい。今のリーダーたちみたいに・・・そんな期待を込めながら、これからもリーダーのみなさんの元気をわけてもらいに毎日楽しくお迎えに行こうと思います。

そして無駄な抵抗と知りつつ、今後子どもたちには言い続けるつもりです。「お母さん あした会社休みだから、学校からまっすぐ家に帰ってきてもいいよ。」返事は分かりきっているのですが^^;





YMCAって？



学童保育、野外活動、サッカー教室、水泳教室など、さまざまな活動を行っているYMCA。YMCAの名を冠する団体は、日本国内だけでなく、世界中に存在しています。では、「YMCA」とは一体どのような団体なのでしょう？今回の特集は、YMCAについてより深く探っていきます。

YMCAは、Young Men's Christian Associationの略で、キリスト教青年会を意味します。キリスト教精神に基づき、人々の交わりを通して精神・知性・身体の上を図り、地球市民としてグローバルな人格を築き、社会や隣人に奉仕する人を育てることを目的としています。

YMCAが生まれたのは、産業革命下のロンドンでした。当時のロンドンでは、農村から都市部に出てきた青少年たちが、機械の歯車のように働かされ、仕事と寝るだけの生活を送っていました。呉服商で働く22歳の青年、ジョージ・ウィリアムズは、このような苦境にあえぐ青年たちが、生きる意味を見つめ、孤立から

連帯し、積極的な人生を送れるようにと、1844年にYMCAを創立したのです。

日本では1880年に、東京YMCAが設立されました。日本でも、YMCA運動を興したのは、20代の青年たちでした。その中には、内村鑑三、新渡戸稲造、新島譲など当時の社会を代表する青年たちがいました。現在では、世界119の国と地域に10,000を超えるYMCAがあり、5800万人の会員を有する世界最大のNGOでありNPOとなりました。日本には北海道から沖縄まで188の拠点到にYMCAがあり、約10万人の会員とともに活動をおこなっています。



パレスチナ自治区・ガザYMCAの子どもたち ←



フィリピンワークキャンプに参加した、世界中のYMCAのユースたち。このワークキャンプには、盛岡YMCAからますおリーダーが参加しました。 ←

盛岡YMCAってどんなところ？

盛岡YMCAでも、さまざまなプログラムが行われ、それぞれのプログラムで子どもたちの明るい声が響いています。活動を行っていく中で、盛岡YMCAが大切にしているのは、「君でいいんだよ」という言葉です。

「君でいいんだよ」



この「君でいいんだよ」という言葉は、かつて盛岡YMCAリーダーであった竹内一真さんが、YMCAのキャッチコピーとして提案してくれたものです。わたしたちはこの言葉をそれぞれのプログラムの柱とし、日々の活動を行っています。

盛岡YMCAの主な活動は、サッカースクール・水泳教室・学童保育・野外活動・被災地復興支援活動となっています。

サッカースクールおよび水泳教室においては、ひとりひとりの成長を促し、すこやかな心と体を育み、いのちを守ることを大切に学ぶことを目的としています。それぞれのスポーツの基本の「き」から、さらにスポーツを楽しむための技術を獲得するまで、盛岡YMCAのプログラムはサポートしています。

学童保育は、本町センター・前湯センター・向中野センターの3センターにて行われています。それぞれのセンターに集う子ども

たちの個性を尊重し、コミュニケーションを大切にしながら、子どもたちに成長の機会を提供することを大切にしています。

野外活動では、野外での活動という非日常的な時間を通じて、自然への適応力を身に着けることや、良い習慣を育て実践すること、良き友人を作る方法などを学ぶ機会を提供しています。毎月1回のアドベンチャークラブ（小学生向け）、森のようちえん（幼児向け）、夏・冬のキャンプ（幼児～中学生向け）といったプログラムを展開し、それぞれの季節を大切に活動を行っています。

盛岡YMCAは、2011年3月18日より、宮古市に「盛岡YMCA宮古ボランティアセンター」を開設し、被災地復興支援活動を行っています。当初はヘドロの除去や瓦礫の撤去といった活動がメインでしたが、現在では「宮古を愛する子どもたちの育成事業」として、宮古市の子どもたちに野外活動やサッカースクールなどのプログラムを提供しています。その他、仮設住宅でのレクリエーション活動、交通安全指導などの活動も行っています。

これまで挙げた活動の他にも、毎年行われる国際協力募金活動や、ボランティアリーダーの育成なども行われています。これからも、「君でいいんだよ」という言葉を大切に、活動を続けてゆきます。



アドベンチャークラブ（小学生向け野外活動）の様子 ←



盛岡YMCA内部のサッカー大会も行われます！ ←



こちらは学童保育でのコマ。 ←

「維持会員」とは？

盛岡YMCAは、「君でいいんだよ」という言葉を掲げ、一人ひとりが大切にされる社会を目指しています。そんな社会を作り上げるためには、ひとりでも多くの賛同者を得て、活動を更に社会に広げていくことが必要となります。

わたしたちの願いに賛同して、会費によって活動を支えてくださる方のことを、「維持会員」と呼んでいます。わたしたちの様々なプログラムは、維持会員の皆様のご支援に支えて頂き、成り立っています。

維持会費の納入方法などにつきましては、別途パンフレットがございますので、そちらをご覧ください。

盛岡YMCAの願い・理念にご賛同いただけましたら、維持会員として盛岡YMCAの活動をお支えください。よろしく願いいたします。



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 4月報告書

宮古ボランティアセンターの活動も新年度を迎えました。5年目にあたる今年、大きな変化の年です。

① 盛岡からスタッフを派遣しての活動となります。

今までは大阪YMCA・横浜YMCA・仙台YMCAより派遣されたスタッフが宮古に常駐し、宮古ボランティアセンターを運営しておりましたが、今年度から活動を以下に集約し、盛岡からスタッフを週1日派遣して活動を行います。

宮古を愛する青少年の育成事業

① 小学生を対象とした月例の野外活動 (宮古アドベンチャークラブ)

② 宮古小学校 サッカー教室 毎週火曜日開催

③ 津軽石小学校 水泳教室 8/8～8/12

④ 高校生ボランティア 育成講座

② ボランティアセンターを移転します

現在の宮古市大通にあるボランティアセンターは、今年度5月いっぱい土地の使用期限が終了するため、移転し

ます。「クライマーを送る会」の方々を中心にお手伝いいただき、引っ越しは既に完了しています。

新センターの住所は以下の通りです。

〒027-0066

岩手県宮古市田の神1丁目2番32号

③ 4/11 (土) さんりくESD閉伊川大学校 ヤマメの放流体験

さんりくESD閉伊川大学校、閉伊川漁業協同組合が主催した、ヤマメの放流会に参加してきました。

2年前の11月のYMCAの野外活動(アドベンチャークラブ)で採卵したヤマメが稚魚となって10センチ前後に育っていました。YMCAからは、その時に参加した子どもたちのうち、2名の女の子が放流に参加してくれました。放流の際は、東京海洋大学のお兄さんが親切に教えてくれました。

④ 宮古小学校サッカースクール開幕!

宮古小学校でのサッカー教室が、4月21日からスタートしました。今年度からは、毎週火曜日の開催です。当初は、21名の申込みでしたが、去年まで参加していた子どもたちも途中から参加し始め、最後は、40名近くになりました。前半は、ボールを使った鬼ごっこを行い、後半は、1年生のグループと2年、3年生のグループに分け、白熱したゲームを繰り広げました。今回は、私の他に盛岡から伊藤スタッフが応援に駆けつけてくれました。(濱塚)



宮古市田の神の新しいセンターの様子。昭和の空気が溢れる空間です。



旧ボランティアセンターは、浄土ヶ浜マリスタで活躍したインハウスの皆さんに引き取って頂きました。コンサートのステージとして活用されるそうです!

→ 体験のヤマメの放流が立派な稚魚となつて、感激もひとしお!



→ 今年度も宮古小学校でのサッカースクールがスタートしました! 初回からとても賑やかなスクールとなりました。



5月の予定

- ★5月3日(日)～4日(月)
リーダーキャンプ
(於：矢巾町営キャンプ場)
- ★5月10日(日)
宮古アドベンチャー
「野外料理に挑戦！」
(於：宮古市野外活動センター)
- ★5月16日(土)
5月森のようちえん
「原っぱを駆けまわろう♪
ごろごろキッズ☆」
(於：小鹿牧場)
- ★5月17日(日)
サンデースクール
「クレープづくり」
(於：盛岡YMCA前潟センター)
- ★5月23日(土)
会員総会
- ★5月31日(日)
5月アドベンチャークラブ
「レッツアウトドアクッキング♪」
(於：つどいの森)



君でいいんだよ

～JUST THE WAY “YOU”ARE⑪～

「濱ちゃんの『心』 小さ～い！」



震災前までは、水泳や、サッカーのマイクロバスでの送迎が私の日課の一つになっていた。事務の仕事が多くなり、子どもたちと話す機会が少なくなっていた

私にとって、マイクロバスの中での子どもたちの会話は、結構、貴重な時間でもあった。

毎週、水曜日は、幼児の水泳の送迎だ。マイクロバスに乗って来ると、その日の幼稚園の出来事や、ほしいおもちゃ、兄弟のことなど、様々なことをお話してくれる。でも、同時に何人から話を聞くわけにもいかないし、何より、運転に集中することが先決だ。ということで、大体、「ああ、そうだね。」「ふーんそうなんだ。」と適当に相槌を打ちながら、聞き流すことが常だった。

ところが、ある日、いつものように、聞いている風を装いながら話していると、あるこどもが「濱ちゃん、私のお話全然聞いていない。」「濱ちゃんの心小さい」と言い

だした。彼女は、私の心の内などお見通しだったのだ。「えっ、なんで、濱ちゃんの考えていることがわかるの？」びっくりした様子が面白かったらしく、それから、プールに着くまでずっと、「濱ちゃんの心小さ～い！」の大合唱だった。

先日午後、ある女の子から電話を受けた。学校の帰りが遅くなったので、バスの送迎場所に間に合わない。運転手さんに迷惑をかけるといけないので、連絡してほしいという内容だった。名前を聞いてみるとあの合唱のメンバーの一人 Rちゃんからだ。 「ひさしぶり、濱ちゃんだよ」という電話の向こうで、「おおー」という声が聞こえた。もう5年生になったという。月日の流れの早い事はさることながら、子どもの成長に驚かされた。優しいRちゃんの思いやりに、濱ちゃんの小さい心は、ほんの少し大きくなったような気がした。

「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」

(マルコ10章14節)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

リーダーおすすめBOOK☆

リーダーおすすめの本を紹介していくこちらのコーナー。今回の担当は、モモンガリーダー！いったいどんな本を紹介してくれるのでしょうか？



こんにちは！モモンガです。今日は絵本を紹介しよう。モモンガはあんまり本を読まないけれど、今回紹介する本は幼稚園の時に読んでいた本と、図書館でおいしそうだなあと手にとった本と、家で飼っている犬にそっくりな犬が描いてある本の3冊です。読んでみたいものもあるかもしれません。

1冊目は新見南吉さん作の「てぶくろをかいに」です。この本はきつねの子が町に手袋を買いに行くお話です。人間は怖いと思いながら買い物に行くきつねと、きつねが来たなと思いつつ手袋を売る帽子屋のおじさんの関わりあいがとってもほっこりします。

2冊目は柳生まち子さん作の「クマくんのはちみつぶんぶんケーキ」です。クマくんが蜂のおばさんからのはちみつをもらってケーキを作るお話です。題名に「ぶんぶん」って入っているところも気になって手に取りました。絵もとってもかわいくて実際にはちみつケーキの作り方が書いてある素敵な絵本です。このクマくんの絵本は他にもあるようです。ぜひ読んでみたいですよ！そして作り方をみてぜひ作ってほしいです。作ったらモモンガも食べたいなあ。

3冊目は鈴木永子さん作の「はやくかえってこないかな」です。パパの誕生日にもみちゃんとママがかぼちゃのケーキを作って、パパの帰りを待っているお話です。途中でみちゃんがつまみ食いしてしまう姿にモモンガはとっても共感してしまいました！食べかけのケーキがどうなったかは、ぜひ絵本を読んでみてください。

もしよかったら、図書館で見つけたら読んでみてください！

新リーダーさん&スタッフさん、いらっしゃ～い！

春は出会いの季節。盛岡YMCAでも、新たな出会いがたくさん訪れています。

4月12日に、盛岡YMCA本町センターにて、新入生歓迎会が行われました。盛岡YMCAの活動に興味を持ってくれた約30名の大学生の皆さんと、楽しいひとときを過ごしました。



今回参加してくれた大学生の中には、各プログラムに参加して、リーダーとしての活動を始

めてくれた子も！これから、もっともっとたくさんの方の活動で、たのしい時間を共にできることを願っています。



そして、盛岡YMCAは、今年度より活躍する新スタッフを迎えました。

こちらの写真は、辞令交付式を終えた様子です。新スタッフの紹介は、次号にて行います。お楽しみに！

表紙の写真から



4月18日に行われた森のようちえん「春をさがそう」のおさんぽキッズ☆で1年生の新リーダーもたくさん参加して、賑やかな野外活動となりました。